

千歳支会報告

支会長 澤口 勇治(遺族)

昨年 11 月からの新型コロナウイルス感染症の第三波により、千歳市内においても多くの患者発生が確認され、残念ながら 11 月及び 1 月の千歳支会は中止を余儀なくされました。

その為、千歳支会として報告することがなくなりましたので、今回は昨年 11 月上旬に訪れた厚別区の住宅型有料老人ホーム「在宅****」について、報告させていただきます。

施設へは副支部長の西成田と私の二人で訪問しました。

この施設は昨年 4 月 1 日にオープンし、34 床の規模で主に神経難病の方が入所されており、人工呼吸器を装着している方も受け入れる方針と伺いました。訪問当時は 6 名の ALS 患者が入所されておりました。

訪問当日、新型コロナウイルス感染症も少し落ち着いている時期ながら感染対策を充分に取りながら、4 名の患者さんと交流させていただき、生活の様子や困っていることなどを伺い、アドバイスさせていただきました。

ほとんどのみなさんは車いすを利用されておりますが、症状には違いがあり、まだ会話の出来る方がお一人、筆記や五十音表でコミュニケーションを取られる方がそれぞれお一人と様々です。

面談した患者さんには、私が春先から相談を受けていた方の弟さんがおり、この施設に入所されていたことに安堵しました。

近く意思伝達装置が入るということで、すごく楽しみにしていました。

この施設の運営企業では、今年は東区に同様の施設を開設するとのこと。患者団体としてもこの様な施設が増えて、患者さんが安心して生活が送れることが望みの一つです。

今後とも機会を作って、交流会を行うことを約束した一日でした。施設長、参加いただいたスタッフの方、大変有難うございました。